

自転車で西地域ぐるり

鹿野町鹿野地内ほか／11月25日(土)
 気高・鹿野・青谷の景勝地を自転車でめぐる「西いなばジオパークサイクリング」が開催され、自転車愛好家など71人が参加しました。鹿野往来交流館「童里夢」を発着点に、山越えあり(約49km)と気高・鹿野地域をゆつくりり散策(約20km)する2つのコースで行われ、参加者は、途中の休憩所で振る舞われた布勢の清水で沸したコーヒーや夏泊のサザエのつば焼きなどを味わいながら、さわやかにペダルをこいでいました。



田中千鳥生誕100年記念

気高町浜村地内／11月25日(土)
 鳥取県初の女性新聞記者で作家としても活躍した「田中古代子」の娘で、7歳半で亡くなった「田中千鳥」。彼女が生前に残した詩文に感銘を受けた県内外の文化活動家らによる「田中千鳥生誕百年記念イベント」が、ゆうゆう健康館けたかで開催されました。会場では、短編文化映画「千鳥百年」の上映のほか、トークショー、女優竹下景子さんからのビデオメッセージもあり、参加者らは千鳥の世界に浸っていました。



民俗行事「八日吹きすす払い」

河原町渡一本地内／12月8日(金)
 河原歴史民俗資料館で、民俗行事「すす払い」と「八日吹き」が行われました。最初に、豆がらやわらを竹の先に束ねたすす掃きぼうきを使って、軒下の高い場所を念入りに掃除して1年のすすを落としました。また、「八日吹き」は旧暦の12月8日に豆腐を食べると、1年間についていたうそが帳消しになるといふ言い伝えがあることから、みんなでいろりの火であぶった豆腐に味噌をつけていただき、伝統的行事に親しみました。



祝 岩美広域農道開通式

福部町地内／11月22日(水)
 福部町コミュニティセンターで岩美広域農道開通式が行われ、関係者ら約90人が参加しました。これは、昭和57年から施工を進めてきた地域住民の期待の広域農道であり、このたびの上野から南田間の開通をもって全線開通となりました。開通式では、アトラクションとして福部保育園の園児によるダンスやテープカット・くす玉開披で盛大にお祝いしました。その後場所を岩美広域農道へ移し、開通記念パレードを行いました。



連携中核都市圏の未来を考える

畷町地内／12月1日(金)
 圏域の中心都市と近隣の市町村が連携協約を締結することにより形成される「連携中核都市圏」を考えるシンポジウムが開かれました。圏域の形成には、中心都市が指定都市または中核市である必要があります。本市が中核市に移行する今年4月、鳥取県東部の1市4町と兵庫県新温泉町による形成をめざしています。シンポジウムでは、圏域で活躍中のみなさんによるパネルディスカッションなどが行われ、参加者は連携中核都市圏について理解を深めました。



カニのシーズン到来

賀露町西四丁目地内／11月25日(土)
 山陰の冬の味覚「松葉ガニ(ズワイガニの雄)」をPRする「鳥取かにフェスタ2017」がマリニアピア賀露で行われました。メイン会場の県漁連荷捌所では、松葉ガニや親ガニなどが安く販売されたほか、ステーションイベントなどが行われ、県内外から訪れたたくさんの方でにぎわいました。かに汁の無料サービスには、開始時間前から多くの人が並び、親ガニの半身と大根が入った汁をおいしそうに食べていました。



中核市
 お知らせ
 コーナー
 平成30年4月1日
 中核市「鳥取市」誕生!
 vol.30

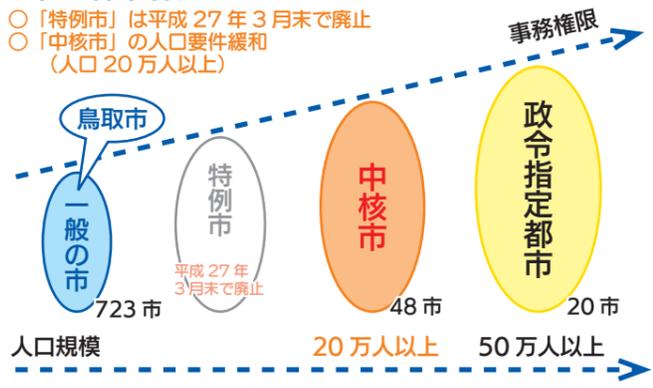
本庁舎 中核市推進局
 ☎ 0857-20-3125
 ☎ 0857-20-3040
 ✉ chukakushi@city.tottori.jp

「特例市」制度から発展

日本の都市には、人口に応じて「政令指定都市」「中核市」「特例市」があります。「特例市」は、人口20万人以上の市に一定の権限を移譲するための制度で、平成12年に創設されました。その後、一般の市への権限の移譲が進んだこともあり、平成27年4月の地方自治法改正で特例市は廃止され、中核市制度と統合されました。

本市は、市町村合併(平成16年)により人口が20万人を超えたことで、平成17年に特例市へ移行し、環境や都市計画など多くの権限を受け、市民に身近なサービスの充実を図り、自立的な都市経営を進めてきました。中核市制度は、保健所の設置や

現在の都市制度



食品衛生監視指導、認可外保育施設支援、産業廃棄物行政など、特例市よりもさらに多くの権限を受けて、市民に最も近い基礎自治体として、より充実したサービスを提供するものです。本市が中核市へ移行すると、特例市からさらに広がる権限を生かして、市民の声や地域のニーズをこれまで以上に市政に反映し、将来にわたるサービスの充実と個性と魅力あるまちづくりを進めます。